

エコアクション21

■ 環境活動レポート ■

2015年度
(2015年1月～12月)

 株式会社 花園サービス

発行 2016年 1月 9日

目 次

環境方針	1
会社概要	2
1. 事業者及び代表者名	2
2. 環境管理責任者及び連絡先	2
3. 事業所	2
4. 組織概要及び事業規模	2～3
<input type="checkbox"/> 法人設立年月日	
<input type="checkbox"/> 資本金	
<input type="checkbox"/> 売上高	
<input type="checkbox"/> 従業員数	
<input type="checkbox"/> 工場延べ床面積	
<input type="checkbox"/> 組織図	
<input type="checkbox"/> 会社沿革	
<input type="checkbox"/> 主要設備	
<input type="checkbox"/> 保有車両	
5. 事業内容	3
6. 認証登録範囲	3
7. 事業計画の概要	4～6
主な環境負荷の実績	7
環境目標及びその実績	7
環境活動の取組み計画と評価	8
環境関連法規制等の順守状況	9
順法の評価	9
処理工程図(産廃・一廃)	10～11
受託した産業廃棄物の処理量	12
処理料金	13
代表者による総括	14

環境理念

株式会社 花園サービスは、日々の事業活動によって発生する環境負荷の削減に継続的に取り組み、地域の環境保全の向上に努め、地球温暖化等の解決に向けた循環型社会の構築に寄与します。

環境方針

株式会社 花園サービスは、廃棄物処理を通じ、環境に携わる企業としての責任と当社での事業活動に伴う環境への影響を認識し、社員一丸となり環境保全活動に取り組み、環境負荷削減に努めるため、以下の方針に基づき活動します。

1. 当社の事業活動による環境負荷を削減するため、環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 当社の事業活動に関係する環境法令・条例・協定及び当社が同意するその他、要求事項を遵守します。
3. 環境目標を掲げ、目標に向けた活動計画を策定し全社員は、目標達成に向け活動し、必要に応じ、継続的改善に努めます。当社は、廃棄物の収集運搬業、中間処理業を事業活動としており下記の事項を重点的に取り組みます。
 - ① 収集運搬業務では、運搬車両や重機の省エネ運転に努め二酸化炭素の排出量削減を図ります。
 - ② 中間処理業務では、廃棄物の再資源化率の向上に努め廃棄物の最終処分量削減を図ります。
 - ③ 省エネ、省資源を推進し、「電力」「水資源」の使用量削減を図ります。
 - ④ グリーン購入の推進として社内備品(コピー用紙・フラットファイル・ボールペン)のグリーンマーク商品を80%以上優先購入を図ります。
4. 環境方針を全従業員に周知するとともに環境教育を通じて環境保全に関わる意識の向上を図ります。
5. 環境活動レポートを作成し、一般に公開する。

平成26年1月7日制定

株式会社 花園サービス
代表取締役 丸山 司

会社概要

1. 事業者名及び代表者名

事業者名	株式会社 花園サービス	
代表取締役	丸山 司	平成24年8月 1日 重任
専務取締役	竹沢 修司	平成25年4月 1日 就任
取締役	丸山 巖	平成27年10月1日就任
監査役	丸山 清子	平成22年9月30日重任

2. 環境管理責任者及び連絡先

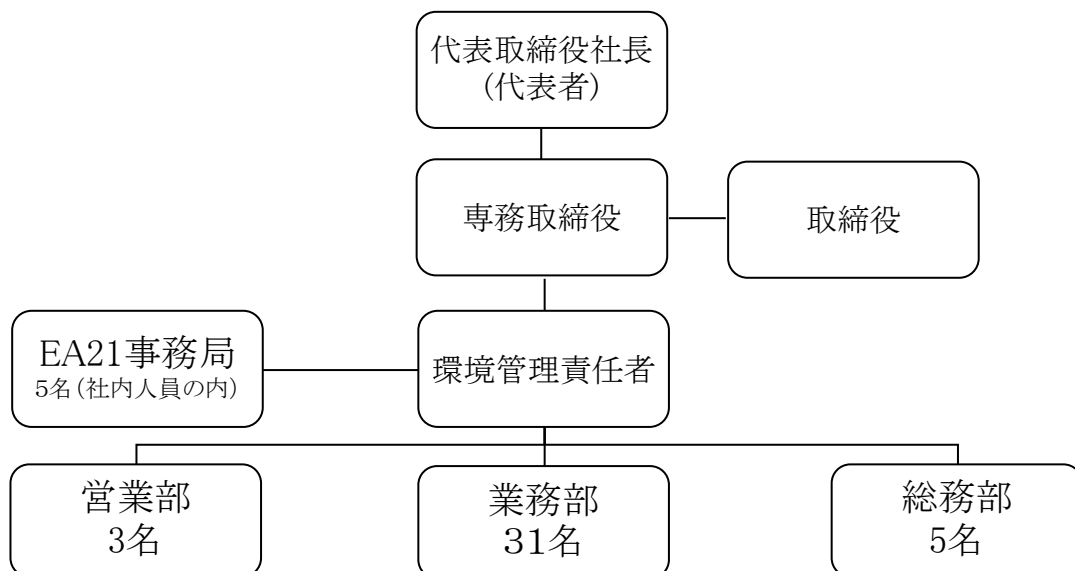
責任者	環境管理責任者	阿部 嘉寛
所在地	〒940-2053 新潟県長岡市福道町354番地3	
T E L	0258-29-1122	
F A X	0258-29-1962	
U R L	http://www.hanazono-eco.co.jp	
E-mail	info@hanazono-eco.co.jp	

3. 事業所及び関連事業所

本社・第一工場 新潟県長岡市福道町354番地3
第二工場 新潟県長岡市福道町字前田386番地1外1筆

4. 組織概要及び事業規模

- 法人設立年月日 昭和48年3月
- 資本金 1,300万円
- 売上高 659百万円 (平成26年8月1日～平成27年7月31日)
- 従業員数 43名
- 敷地面積 5,329m²
- 組織図



□会社沿革

昭和46年11月	長岡市一般廃棄物処理業許可を取得
昭和48年3月	有限会社花園サービス会、資本金100万円にて設立
昭和48年8月	新潟県産業廃棄物収集運搬業許可を取得
昭和51年8月	資本金を250万円に増資
平成6年11月	資本金を300万円に増資
平成8年7月	新潟県特別産業廃棄物収集運搬業許可を取得
平成8年9月	新潟県産業廃棄物処分業許可を取得
平成10年6月	資本金を1,000万円に増資
平成10年7月	株式会社花園サービスに組織変更
平成11年10月	新潟県廃棄物再生事業者登録
平成16年1月	長岡市一般廃棄物処分業許可を取得
平成16年10月	長岡市一般廃棄物処理業務委託を開始
平成17年10月	新潟市産業廃棄物収集運搬業許可を取得
平成18年11月	新潟県計量事業登録
平成19年4月	電子マニフェストシステムを導入
平成19年10月	古物商許可を取得
平成19年11月	第一種フロン類回収業者登録
平成20年12月	資本金を1,300万円に増資
平成21年2月	エコアクション21認証取得

□主要設備

施設名	処理品目(産業廃棄物)	処理品目(一般廃棄物)
破碎・溶融処理施設	廃プラスチック類(発泡スチロール)	廃プラスチック類(発泡スチロール)
圧縮梱包処理施設	廃プラスチック類、紙くず、金属くず	廃プラスチック類、紙くず、金属くず
破碎選別処理施設	廃プラスチック類、紙くず、金属くず、 ゴムくず、木くず、繊維くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類、紙くず、金属くず、 木くず、繊維くず、動植物性残さ
圧縮梱包処理施設	廃プラスチック類、紙くず、金属くず、 繊維くず	
自走式粉碎機		木くず
裁断処理機		繊維くず
磁力選別圧縮機		金属くず
圧縮破碎機		ガラスくず及び陶磁器くず

※稼働時間はいつでも8時間

□保有車両

車種	積載量	台数	車種	積載量	台数
塵芥車(パッカー車)	2.0 t	14台	パワーゲート付トラック	2.0 t	1台
アームロール	4.0 t	5台	小型移動式クレーン車	3.0 t	2台
アルミバントラック	2.0 t	6台	移動式クレーン車(ヒアブ)	2.0 t	1台
					合計 29 台

5. 事業内容

廃棄物の収集運搬、処分、再生に係る業務

- 一般廃棄物処理業(収集運搬・処分)
- 産業廃棄物処理業(収集運搬・処分)
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 第一種フロン類回収業
- 廃棄物再生事業(廃プラスチック類)
- 古物営業許可

6. 認証登録範囲

全組織・全事業

7. 事業計画の概要

産業廃棄物

新潟県、新潟市の各事業所より排出される産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の収集運搬を行っており、処分に関しては、収集した廃棄物を選別分別し、自社の工場にて中間処理をしてなるべく最終処分量が低減できるよう廃棄物の再資源化に力を入れていきます。

□許可の内容

① 産業廃棄物収集運搬業許可{優良}(新潟県)

許可番号 1514034007
許可の年月日 平成23年1月11日
許可の有効年月日 平成29年11月9日
事業の範囲 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産業廃棄物を含む。)、木くず、繊維くず、動植物性残さ、燃え殻、廃油、紙くず 収集・運搬(積替え・保管を含む。)
廃酸、廃アルカリ、ばいじん、ゴムくず(以上、医療系廃棄物に限る。)、汚泥、鋳さい、がれき類 収集・運搬(積替え・保管を除く。)

積替え保管施設

種 類	保管面積(m ²)	保管量(m ³)	高さ(m)
廃プラスチック類	54.72	68	—
金属くず	13.68	16	—
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	25.3	20.7	—
木くず(屋外)	64	95	2.5
繊維くず	6.84	8	—
動植物性残さ	6.84	8	—
燃え殻	6.84	8	—
廃油	3	0.4	—
紙くず	6.84	8	—
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (石綿含有産業廃棄物に限る。)	4	4	—

※木くず(屋外)以外の種類は、すべて専用容器内にて保管。

② 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可(新潟県)

許可番号 1554034007
許可の年月日 平成23年9月29日
許可の有効年月日 平成28年7月25日
事業の範囲 廃油(揮発油類、灯油類及び軽油類に限る。)、感染性産業廃棄物
収集・運搬(積替え・保管を除く。)

③ 産業廃棄物処分業許可

許可番号 1524034007
許可の年月日 平成23年12月9日
許可の有効年月日 平成28年9月24日
事業の範囲 中間処理(破碎・溶融処理、圧縮梱包処理、破碎選別処理)
産業廃棄物の種類 破碎・溶融処理(廃プラスチック類(発泡スチロールに限る。))、
圧縮梱包処理(廃プラスチック類、紙くず、金属くず、繊維くず)
破碎選別処理(廃プラスチック類、木くず、金属くず、紙くず、ゴムくず、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、繊維くず)

事業の用に供するすべての施設

- (1)・施設の種類
破砕・溶融処理施設
・施設の設置場所
新潟県長岡市福道町354番地1
・施設の設置年月日
平成9年12月17日
・施設の処理能力
1.2 t/日 (8時間)
- (2)・施設の種類
圧縮梱包処理施設
・施設の設置場所
新潟県長岡市福道町354番地1
・施設の設置年月日
平成19年2月9日
・施設の処理能力
廃プラスチック類(1.92 t/日)
紙くず(1.60 t/日)
金属くず(1.92 t/日) (以上、8時間)
- (3)・施設の種類
破砕選別処理施設
・施設の設置場所
新潟県長岡市福道町354番地1
・施設の設置年月日
平成12年8月15日
・施設の処理能力
木くず(2.6 t/日)、金属くず(2.6 t/日)
紙くず(1.8 t/日)、ゴムくず(1.4 t/日)
廃プラスチック類(1.8 t/日)、繊維くず(0.7 t/日)
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(4.6 t/日)
(以上、8時間)
- (4)・施設の種類
圧縮梱包処理施設
・施設の設置場所
新潟県長岡市福道町386番地1外1筆
・施設の設置年月日
平成23年7月15日
・施設の処理能力
廃プラスチック類(54.9 t/日)
紙くず(58.4 t/日)
繊維くず(115.3 t/日)
金属くず(87.8 t/日) (以上、8時間)

⑤新潟県再生事業者登録

登録番号 (登) 11第801号

登録年月日 平成11年10月7日

廃棄物の再生に係る事業の内容 廃プラスチック類(発泡スチロール)の再生

紙くず(1.8 t/日)、ゴムくず(1.4 t/日)

廃プラスチック類(1.8 t/日)、繊維くず(0.7 t/日)

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(4.6 t/日)

(以上、8時間)

紙くず(58.4 t/日)

繊維くず(115.3 t/日)

金属くず(87.8 t/日) (以上、8時間)

一般廃棄物

長岡市の各事業所より排出される一般廃棄物の収集運搬、処分を行っており、処分に関しては、収集・運搬した廃棄物を選別分別し、各種類ごとに自社の工場にて中間処理を行っております。中間処理をした廃棄物は、できるだけリサイクルをして単純焼却、最終処分量を削減するべく再資源化率の向上に取り組んでおります。

□許可の内容

① 一般廃棄物収集運搬業許可

取扱廃棄物の種類	一般廃棄物(ごみ)
業務内容	収集及び運搬
許可年月日	平成26年4月1日
許可期限	平成26年4月1日から平成28年3月31まで
許可区域	長岡市内

② 一般廃棄物処分業許可(中間処理)

取扱廃棄物の種類	一般廃棄物のうち 廃プラスチック類、木くず、繊維くず、動植物性残さ、紙くず、 金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず
業務内容	処分(中間処理)
許可年月日	平成27年4月1日
許可期限	平成27年4月1日から平成29年3月31まで
許可区域	申請書に記載の施設設置場所

□事業の用に供するすべての施設

No	施設の種類	設置場所	設置年月日	処理能力	処理品目
1	破碎・溶融処理施設	新潟県長岡市福道町354番地3	平成9年12月17日	1.2t/日	廃プラスチック類 (発泡スチロール)
2	圧縮梱包処理施設	新潟県長岡市福道町354番地3	平成11年5月12日	2.0t/日	廃プラスチック類、紙くず、 金属くず
3	破碎選別処理施設	新潟県長岡市福道町354番地3	平成12年7月25日	3.5t/日	廃プラスチック類、紙くず、 金属くず、繊維くず、木くず、 動植物性残さ
4	自走式粉碎機	新潟県長岡市福道町386番地1	平成16年11月25日	4.4t/日	木くず
5	裁断処理機	新潟県長岡市福道町354番地3	平成16年11月25日	3.0t/日	繊維くず
6	磁力選別圧縮機	新潟県長岡市福道町386番地1	平成18年12月12日	4.0t/日	金属くず
7	圧縮破碎機	新潟県長岡市福道町386番地1	平成19年8月27日	2.0t/日	ガラスくず及び陶磁器くず

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	573,249
【廃棄物排出量】		
一般廃棄物(自社)	kg/年	305.8
事業系一般廃棄物(バイオ搬出比率)	%/年	22%
産業廃棄物排出量	t/年	2,096
総排水量	m ³ /年	406

□環境目標及びその実績

項目		年度	基準 2014年目標	2015年 (1月～12月)		2016年	2017年
				目標	実績	目標	目標
目標設定項目の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年		621,793	613,783	573,249	613,841	608,140
購入電力の削減	kg-CO ₂ /年		53,222	40,402	39,633	40,200	39,998
軽油の削減	kg-CO ₂ /年		472,738	468,012	436,035	463,331	458,698
天然ガス	kg-CO ₂ /年		46,758	56,785	62,840	62,212	61,590
ガソリンの削減	kg-CO ₂ /年		24,130	23,889	18,661	23,650	23,650
灯油の削減	kg-CO ₂ /年		24,945	24,695	16,080	24,448	24,204
一般廃棄物の削減(自社)	kg/年		428	424	306	420	416
事業系一般廃棄物(バイオ搬出比率)	%/年		20%	21%	22%	22%	23%
産業廃棄物の削減 *1	t/年		1,800	1,782	2,096	1,764	1,746
水資源の削減	m ³ /年		860	520	406	520	520
グリーン購入の推進(金額ベース)	%/年		80%	81%	100%	82%	83%

※二酸化炭素排出量の算定に用いた購入電力排出係数は平成24年度東北電力(株)

実排出係数0.546(kg-CO₂/kWh)を用いて算出しています。

※化学物質の使用はないことから環境目標は設定しない。

※*1産業廃棄物の量は受託中間処理量を含む数値です。

※天然ガスの2015年度目標は、5月より目標値を変更した値です。

※バイオ搬出比率は事業系一般廃棄物処理量に占めるバイオ燃料への再生回収量の比率です。

※購入電力の削減目標は、2015年1月より変更した値です。

※水資源の削減目標は、2015年1月より変更した値です。

□環境活動の取組み計画と評価並びに次年度の取組み計画

取組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力の削減 ・節電運動 ・不要照明の消灯 ・設備等の空運転防止 ・空調機器(冷房28℃、暖房20℃)	目標値: 40,402 kg-CO ₂ (2014年度比 △24.1%) 実績: 39,633 kg-CO ₂	目標達成 社内照明をLED交換した効果が十分出たこともあり、目標を達成出来た。併せて社員全体に取り組みへの意識がさらに浸透した事が要因と思う。現状の取組を継続し特に節電運動を継続して行きたい。
自動車燃料等の削減 『軽油・ガソリン・天然ガス・灯油』 ・エコドライブ運転の推進 ・アイドリングストップ ・低燃費車、ガス車への代替推奨 ・施設等の空運転防止(溶融機) ・施設稼働率の向上(溶融機) ※破碎・溶融処理機の燃料は灯油	目標値: 573,381 kg-CO ₂ (2014年度比 以下) 軽油(2,014年実績に対し): △1% 天然ガス(目標変更46,289→56,785) ガソリン(2014年目標に対し): △1% 灯油(2014年目標に対し): △1% 実績: 533,616 kg-CO ₂	目標達成 総体で目標を達成する事ができた。天然ガスについては作業において天然ガス車使用頻度を上げた為、目標未達であったが、軽油・ガソリン車は社員全体の協力もあり達成する事が出来たことはプラスと考える。天然ガスの目標数値は是正し来年度以降の動向を確認したい。次年度もエコドライブを徹底し全項目が目標達成できるように活動して行きたい。
水資源の削減 ・節水運動の展開(清掃時など)	目標値: 520 m ³ (2014年度比 △39.5%) 実績: 406 m ³	目標達成 全社員に節水に対する意識が浸透し目標を達成する事ができた。日々の取組が反映していると思われる。次年度も現状の取組み計画を継続し特に個人意識をさらに高める事に取組んでいきたい。
一般廃棄物の削減(自社) ・裏紙の使用(両面使用) ・ミスコピーの防止 ・エコキャップ運動 ・分別BOXの設置	目標値: 424 kg (2014年度比 △1%) 実績: 305.8 kg	目標達成 昨年度同様に取り組みが浸透し目標を達成できた。エコキャップ運動にも率先して運動できたと思う。特に裏紙使用について徹底できたと思う。次年度も現状の取組み計画を継続しコピー使用時には必ず確認の上使用する様に徹底した活動する。
事業系一般廃棄物(バイオ搬出比率向上) ・分別回収の実施 ・再資源化率の向上 ・分別の協力を頂きバイオ処理の比率を上げる。	目標値: 21% (参考2014年度比 20%) 実績: 22.2%	目標達成 全社員に分別に対する意識が浸透し始めた結果が目標達成に繋がったと思う。お客様へのお願い及び回収時の選別の徹底等が出来た要因と思える。次年度も選別作業を徹底するようにしていきたい。
産業廃棄物の削減 ・選別・分別の徹底 ・再資源化率の向上 ・情報収集(リサイクルの動向)等	目標値: 1,782 t (2014年度比 △1%) 実績: 2095.9t	目標未達 今年度は目標を達成する事が出来ませんでした。今年度は仕事量の増加が原因と考えられる。全社員の選別に対する意識は感じる事が出来ました。次年度は選別作業を徹底し目標を達成したい。
グリーン購入の推進 コピー紙・フラットファイル・ボールペン 紙のグリーンマーク商品の優先購入等	目標値: 81% (2014年度比 +1%) 実績: 100%	目標達成 社員に徹底した意識が確認できた。次年度も購入時等に特に注視していく。
総括 [代表者] 今年度は、第2工場にソーラーパネルを設置した効果が大いに実績へと繋がってくれた。 次年度も全社員に対し意識の徹底を図り目標を達成できるよう日々の活動に取り組んでいくと共に 今後新たな取り組みがないかも含め検討をしていきたい。		

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである。

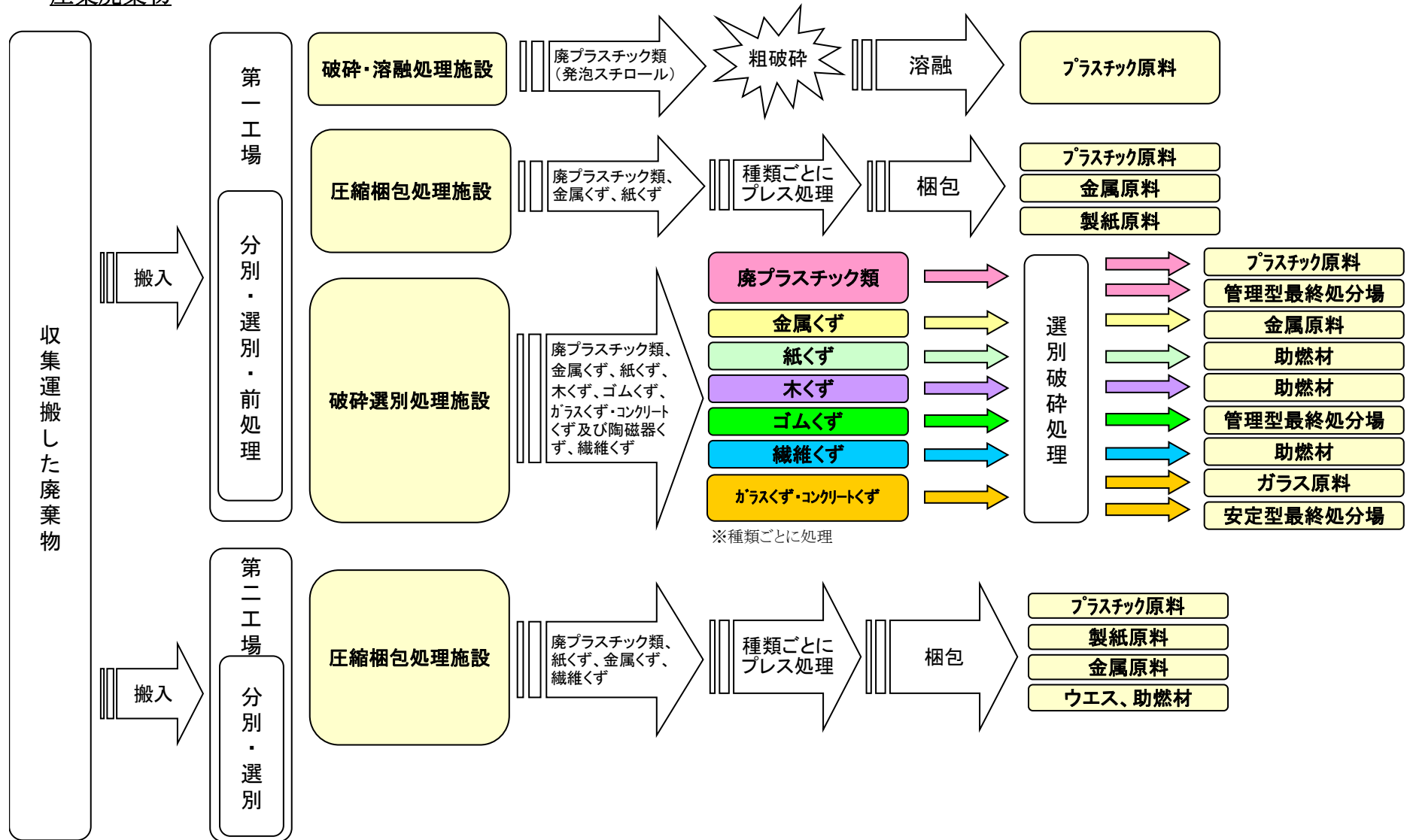
法規制等の名称	該当する要求事項	適用される施設・確認事項等
廃棄物処理法	・産業廃棄物収集運搬業の許可(新潟県)	許可番号 1514034007
	・産業廃棄物処分業の許可	許可番号 1524034007
	・特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可(新潟県)	許可番号 1554034007
	・保管基準順守(表示、衛生管理)	保管施設
	・帳簿の記載及び保管	マニフェスト
	・産業廃棄物運搬車の表示及び備えておく書類	収集運搬車両
	・産業廃棄物処理施設の維持管理	中間処理施設
	・技術管理者の選任	2名選任
	・名義貸しの禁止	委託契約書(5年間保管)
	・契約書の作成及び保管	委託契約書(5年間保管)
	・産業廃棄物管理表(マニフェスト)の交付	マニフェスト
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書	県知事に報告(6月末)
新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例	・県内産業廃棄物の県内処理(県条例7条) ・処分委託先の確認と記録	マニフェスト 確認と記録
暴力団排除条例	・取引の禁止	委託契約書(5年間保管)
家電リサイクル法	・廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用 ・管理票の発行及び交付 ・使用済家電製品の産業物核当性の判断 ・一般廃棄物、産業廃棄物の運搬許可	廃家電 管理票
騒音・振動規制法	・規制管理基準の順守 ・騒音(第3種区域 65dB) ・振動(第4種区域 65dB)	破砕選別処理施設・圧縮梱包処理施設 (施設非該当) 圧縮梱包処理施設
フロン回収・破壊法	・フロン類の適切な回収 ・フロン回収業者の登録	冷媒回収装置 第一種フロン回収業者
長岡市火災予防条例	・少量危険物の保管の届出(第51条)	灯油タンク(409リットル) 廃油の保管施設(400リットル)
消防法	・消化器の設置	施設内全域
悪臭防止法	・自主管理基準の順守	破砕・溶融処理施設
労働安全衛生法	・作業員の安全確保(健康障害の防止) ・使用する重機の定期自主点検 ・新型インフルエンザ対策	安全衛生の指導、物品の支給 (安全靴、ヘルメット、手袋、マスク等) 消毒液、うがい薬の設置
グリーン購入法	・環境物品等の調達推進	事務用品等
長岡市地下水保全条例	揚水施設の届出	揚水設備

□順法の評価

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、関係当局から過去3年間にわたって違反の指摘、訴訟もありませんでした。

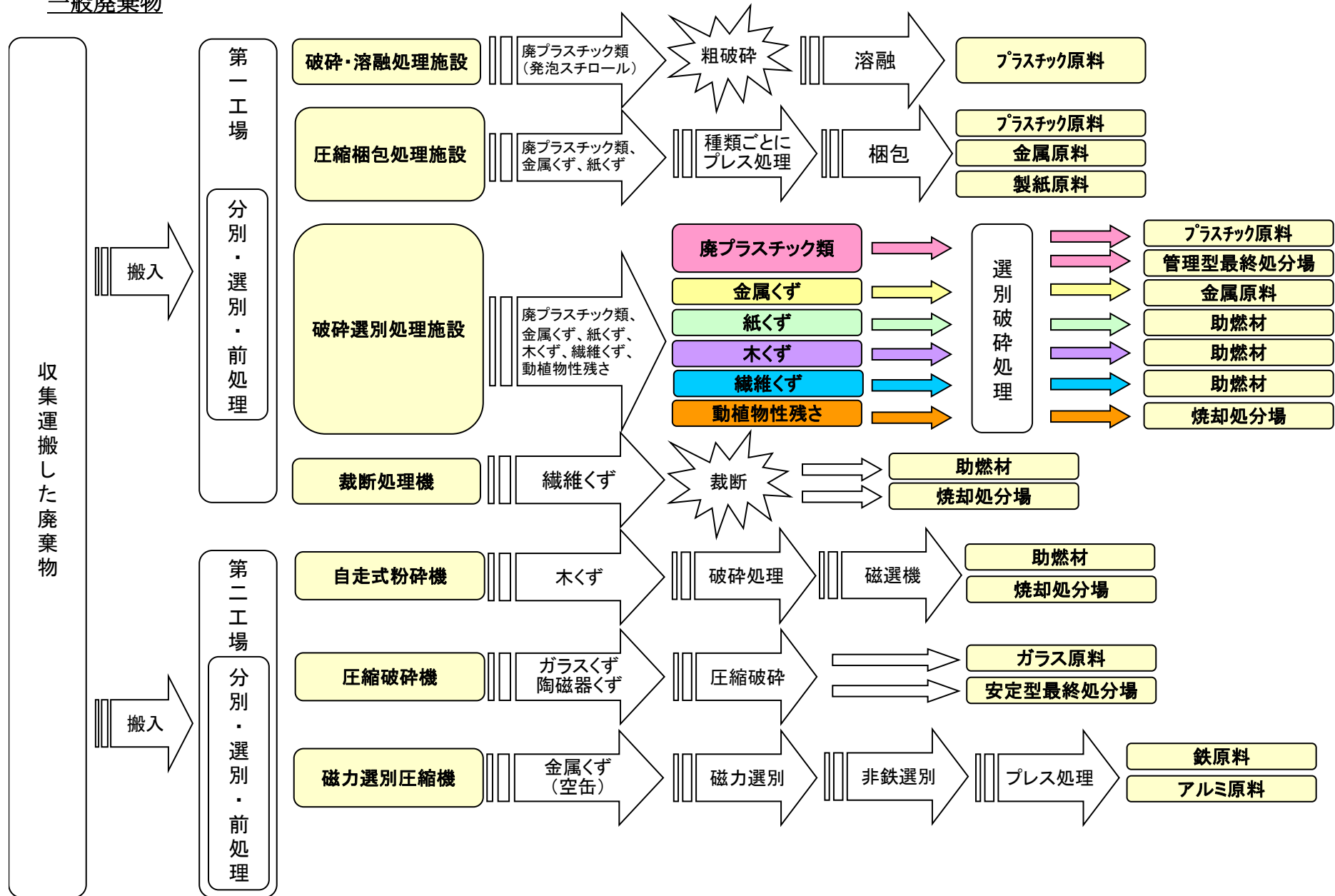
処理工程図

産業廃棄物



処理工程図

一般廃棄物



□受託した産業廃棄物の処理量(一般廃棄物を含む)

2015年(27年1月～27年12月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)		
収集運搬	事業系一般廃棄物		13202.3		
	燃え殻		0		
	汚泥		864		
	廃油		1		
	廃プラスチック類		579		
	紙くず		10		
	木くず		213		
	繊維くず		6		
	動植物性残さ		2254		
	金属くず		283		
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		182		
	がれき類		10		
	建設混合廃棄物		0		
	特別管理産業廃棄物(医療系)		13		
	収集運搬量合計			17617.3	
	廃プラスチック類	破砕溶融処理	33		
	廃プラスチック類	破砕選別処理	513.7		
	廃プラスチック類	圧縮梱包処理	62.3		
	紙くず	破砕選別処理	0		
	紙くず	圧縮梱包処理	1		
	木くず	破砕選別処理	499.3		
	繊維くず	破砕選別処理	6		
	金属くず	圧縮梱包処理	8.5		
	金属くず	破砕選別処理	292.6		
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破砕選別処理	193.9		
		廃プラスチック類	売却	609.4	
		紙くず	売却	1.1	
		木くず	売却	499.3	
		繊維くず	売却	6	
		ゴムくず	売却	0	
	金属くず	売却	292.6		
	再資源化等量小計		1408.4		
中間処理合計			1610		
最終処分					
最終処分量合計					
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃プラスチック類	管理型最終処分	0	
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	安定型最終処分場	155.2	
			燃え殻	再中間処理(委託)	0
			汚泥	再中間処理(委託)	834
			廃油	再中間処理(委託)	0
			廃プラスチック類	再中間処理(委託)	0
			紙くず	再中間処理(委託)	0
			木くず	再中間処理(委託)	0
			繊維くず	再中間処理(委託)	0
			ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	再中間処理(委託)	38.4
			金属くず	再中間処理(委託)	8.5
					廃プラスチック類
	紙くず	再生利用(売却)			1.1
	木くず	再生利用(売却)			499.3
	繊維くず	再生利用(売却)			6
金属くず	再生利用(売却)	292.6			
	再資源化量等小計		1408.4		
中間処理後処分量合計			1610		

処 理 料 金

処理料金につきましては、種類や性状によって異なりますので別途お見積り致します。
お見積りは無料ですのでお気軽にお問い合わせ下さい。

□代表者による総括

総括 [代表者]

今年度は、第2工場にソーラーパネルを設置した効果が大いに実績へと繋がってくれた。次年度も全社員に対し意識の徹底を図り目標を達成できるよう日々の活動に取り組んで行くと共に今後新たな取り組みがないかも含め検討をしていきたい。

変更の必要性の有無・指示事項

[環境方針]

昨年、改定して新たに方針を明確にしたグリーン購入推進事項を本年も継続して取り組みを続ける。また、「環境理念」「環境方針」は、全社員に周知、理解させた上で活動に取り組んでもらう。特に新入社員には、的確丁寧に周知させる。

変更の必要性： 有 無

[目標]

27年度の結果を踏まえ、目標値の設定を修正することで、社員が負担なく取り組み易い活動とする。

変更の必要性： 有 無

[環境活動計画]

27年度の結果を踏まえ、取り組み内容を考慮する。中でも産業廃棄物の削減に関しては、計画値が未達ですので十分に結果を検証し、取り組み計画に反映する。

変更の必要性： 有 無

[環境経営システムの各要素]

認証取得して7年目に入ります。今後も環境活動を続けて行く上で、取り組み内容や目標数値を必要に応じて見直しを行い、無理なく取り組みやすいシステムの再構築を考えて下さい。

変更の必要性： 有 無